

# 全国保健師長会千葉県支部だより

令和7年度 第2号 令和7年11月26日発行

## 1 千葉県支部長あいさつ

年末、何かと忙しい日々を過ごされていることかと思えます。各所属で人材育成、危機管理体制整備、地域のネットワーク強化やマネジメント等、様々な課題に向き合い活動する中で、所属を超えた横のつながり、学ぶ場の大切さを実感する日々です。

本会の会員相互の情報連携や研修の機会が、少しでも皆様の活力源になることを願っております。

全国保健師長会千葉県支部長 鈴木麗子



## 2 第47回全国保健師長会代議員総会・研修会報告

開催日時：令和7年11月15日（土）

9時30分～15時30分

会場：徳島グランヴィリオホテル

総会議題：第1号議案から第9号議案

すべての議案が賛成237票（無効0）で可決されました。



### 【基調講演】

「多様性の時代に求められる管理職保健師の対応力とは ～組織管理と人材育成について～」

講師：神戸市看護大学 健康生活看護学領域  
公衆衛生看護学分野 教授 岩本 里織 氏

2040問題、住民の多様性等、今後の社会の変化とともに、若い世代が多くを占める年齢構成の組織の中で、多様な保健師教育を受けた新採保健師の人材育成が重要となっている背景をもとに、管理職保健師に求められる対応力について次のような具体的対応力のお話がありました。

1. 地域全体を包括的に捉え健康課題を明らかにし解決に向けた推進ができる（地域の多様な地域包括ケアシステムの構築）
2. 地域の多様な看護職のリーダー的存在となり、マネジメントできる
3. 重層的課題（個別・地域）に対して分野横断的な取り組みができる
4. 健康危機に対する総合的マネジメントが担える
5. 多様な保健師人材を育成・活用できる力
6. AI等活用の推進力



### 【実践報告①】

「保健師の副町長として考える組織間連携による包括的支援体制の実現と人材マネジメントについて」

講師：奈良県田原本町 副町長 工藤 華代 氏

田原本町に保健師で入職後、健康福祉課長、住民福祉部長等を経て、2022年度から現職で活躍されている同氏。町長からの任命理由は、「保健師としての経験を活かし、町長には見えない視点からの助言が期待できる」ことだったそうです。

住民主体の“まちプロジェクト”、横のつながりを深める人材マネジメント、福祉経験者が町の部署のあちこちにいる職員配属等、随所に地域や他部署を巻き込んでいく事業展開の様子をお話してくださいました。“今後の展開を考えるクセ”をモットーとしてきた同氏の行動力に魅せられる内容でした。

### 【実践報告②】

「組織において求められる統括保健師・管理職保健師の役割について」

講師：徳島県保健福祉部 地域保健統括官 梅田 弥生 氏

管理職になって思うこと、コロナ対応や能登半島地震時の調整経験を通して行った統括保健師、管理職保健師としての役割について話され、以下の点を統括保健師・管理職保健師に求められるものとしてあげられました。

- ・ジェネラリストとしての保健師視点（行政のこと、現場の実態を知るものとしての意見や提言）
  - ・保健師のリーダーとしての自覚・責任感
  - ・日頃から業務と真摯に向き合う・・・「常が大事」
- 保健師の強み・武器があることを自覚し業務に取り組むことの大切さを感じました。

（報告者 館野 理恵）



## 3 令和7年度

全国保健師長会千葉県支部研修会お知らせ

テーマ：「共感力」はビジネススキル

～心理的安全性の高い職場づくり～

日時：令和8年1月31日（土）

午後1時30分～3時30分

会場：プラザ菜の花 2階サークル室 Pal (A・B)



お待ちしております